

第 15 回情報プロフェッショナルシンポジウム

INFOPRO2018

参加募集!

企業・大学・図書館の情報プロが集う最大のイベントです!

メインテーマ

「情報を未来への力に」

主催

一般社団法人 情報科学技術協会 (INFOSTA)

会期

2018年7月13日(金) 10:00-18:30

会場

日本図書館協会会館 2階研修室

〒104-0033 東京都中央区新川 1-11-14

プログラム

- ・ 3i 研究会第 5 期発表
- ・ プロダクトレビュー
- ・ トーク&トーク
～演者といっしょに考える～「AIとインフォプロの将来」
- ・ 情報交換会

参加費

INFOSTA 会員：3,240 円 / 一般：4,320 円 / 学生：1,080 円

- ・ 参加費は税込みです。
- ・ 情報交換会参加費が含まれます。
- ・ 維持会員は 2 名、特別会員は 1 名の招待があります。

申込方法

以下の URL よりお申し込みください。

<http://www.infosta.or.jp/symposium-top/>

web 申込期限：2018 年 7 月 12 日 (木)

- ・ 当日は会場でお申し込みください。
- ・ 定員は 130 名です。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

一般社団法人 情報科学技術協会 INFOPRO2018 事務局

〒104-0033 東京都中央区新川 1-11-14 日本図書館協会会館 6 階

TEL:03-6222-8506 FAX:03-6222-8507 sympo@infosta.or.jp



INFOPRO Web サイト：<http://www.infosta.or.jp/symposium-top/>

プログラム

開会挨拶

10:00-10:15

3i 研究会第 5 期発表

10:15-12:15

研究テーマ

- ・特許と論文の複合解析による有望応用分野の予測 – 印刷技術を例に –
- ・工業技術による 1 次産業（養殖）の高収益化
- ・技術情報を用いた他社コア技術の特定手法開発
- ・高齢者の屋外行動監視における現状調査とサービスの提案

ランチタイム

12:15-13:30

プロダクト・レビュー

13:30-14:40

インフォプロを支援する企業の最新情報をお伝えします。

特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会 / 株式会社サンメディア / ユサコ株式会社

一般社団法人 化学情報協会 / 国立研究開発法人 科学技術振興機構

株式会社協和テクノサービス / 株式会社ジー・サーチ

休憩

14:40-15:00

トーク&トーク

15:00-17:00

～演者といっしょに考える～ 「AI とインフォプロの将来」

協会賞表彰式（役員紹介）

17:30-18:30

閉会挨拶

情報交換会

17:30-18:30

トーク & トーク 15:00 - 17:00

演者といっしょに考える

「AI とインフォプロの将来」

趣旨説明

昨年度のトーク&トークでは、「人工知能 (AI) とインフォプロのイイ関係」と題して、AI が産業や社会に与える影響に詳しい慶応義塾大学の山口高平先生のご協力を仰ぎ、参加者全員によるディスカッションを行いました。山口先生の話提供およびグループディスカッションを通じて、「ルーティン的な知識労働は AI に置き換わる一方、AI と人の業務プロセスを細分化して考えることで、それぞれの役割の違いが見えてくる」といった議論がなされました。

そこで、今回のトーク&トークでは、インフォプロの業務に近い現場において AI や関連技術がどこまで実装されているのか (実装されつつあるのか)、また AI にはどのような課題や限界があるのかを探ります。実際に AI や関連技術を使った仕組みや事業を行っておられている専門家の方から情報提供をいただき、より具体的に AI と人のタスクを細分化し、リアルに AI を業務に役立てるきっかけとなる議論を行いたいと思います。

実施形式

話提供者とグループディスカッション形式で実施を予定しております。

話提供者

川村 隆浩 氏 (国立研究開発法人 科学技術振興機構 主任調査員)

AI 技術の社会実装に取り組んでいる。特に、テキストデータや数値データから情報の関係性をグラフ状にまとめたナレッジグラフの構築に取り組んでおり、この度、引用情報に依らずに論文やファンディング情報の関係性を表したサイエンスマップを実現。萌芽領域探索等への応用を検討中。(IEEEの人工知能、特にセマンティクス活用技術に関する国際会議 ICSC 2017 で、最優秀論文賞を受賞)

清田 陽司 氏 (株式会社 LIFULL 主席研究員)

不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」を運営する株式会社 LIFULL にて、不動産物件画像解析などへの AI 活用を手がけるとともに、共同研究やデータセット提供を通じた AI 分野のオープンイノベーション創出に取り組んでいる。国立国会図書館「リサーチ・ナビ」の開発にも携わった。人工知能学会編集委員会副委員長、Code4Lib JAPAN 共同代表などを務める。

杉原 淳一 氏 (株式会社バイオインパクト 代表取締役社長)

各省庁や研究機関の科学研究費助成 (ファンディング) 情報と研究者情報やプレスリリースと組み合わせた国内最大級の研究課題・研究者データベース「日本の研究 .com」を民間企業として提供中。独自のテキスト分析アルゴリズムを用いた研究分野の自動分類など、随所に使いやすさの工夫を行っている。

コーディネーター

林和弘 (文部科学省科学技術・学術政策研究所) / 川越 康司 (株式会社富士通総研) / 山崎 美和 (国立研究開発法人 科学技術振興機構)